



角田 敦子さん

- ・出身：米子市（南部町大国地区在住）
- ・職業：布絵教室、粘土教室を開催
- ・おはなし・ドン！のメンバー

趣のある昔ながらの建物に所狭しと並ぶ布絵や粘土作品。ハツラツとした声と明るい笑顔で、その温かみの溢れる空間に迎えて下さったのは、今月の里人である角田敦子さん。

米子市出身の角田さんは24歳の頃、南部町に嫁いできた。

米子市内の幼稚園で幼稚園教諭として勤務していた角田さんは、結婚後55歳で退職するまでのおよそ35年間、南部町から米子に通った。

当時はまだ法勝寺電車が通っていた頃。今ほど道が整備されていなかったのが、米子に通うのは大変だったが、自然が近くにあるのびのびと子どもを遊ばせられる南部町は、子育て環境としてはとても理想的だったと話す。

55歳で幼稚園を退職したのは孫の子守を頼まれたのが大きなきっかけだったそう。

退職してからは、孫を連れて通っていた子育てサークルで繋がった新しい出会いから、新しいことを始めたり、それまで角田さんが続けてこられた“好きなこと”今までやってきたこと“を新しい形で始めるきっかけができた。

その一つが【おはなし・ドン】

2000年6月に発足したおはなし・ドンは、お話のあたたかさを地域の子どもたちへ伝えていきたい！というお話好きな人たちの想いで始まった、ボランティアグループ。

人形劇を中心に、絵本の読み聞かせやパネルシアター等を公演する。メンバーはだいたい13~14人くらいで、それぞれが得意分野を活かして脚本から小道具作りまで全てを自分たちで行う。



年に数回公民館での定期公演と、依頼があれば町内の保育園や米子市内や近隣市町村の仲良し学級・その他の施設などに出向くような活動が主となっている。

今年は、事務局のある町立図書館と公民館の建て替えで定期公演が行えないのが残念だ。

活動が始まり、現在20年近く続くおはなし・ドン。

10年を過ぎた頃には、文部科学省から表彰を受け、授賞式に仙台まで行ったこともあったという。角田さんは、おはなし・ドンの発足から17年間団体の代表を務め、昨年代表を降りて1メンバーとなった。

また、発足から現在までメンバーの入れ替えなどがあまりなかったため、全体的な年齢層が高くなってきていて、今後の存続においては課題があるという。

角田さんもメンバーの中では高齢な方だが、「台詞を覚えるのは頭の体操にとっても良いし、何より楽しい！80歳までは続けたいと思っている」と話す。

また、現在自身の工房で【布絵と粘土細工】の教室もされている角田さん。布絵はその名の通り、布を使って絵を作り出す作品。

写真では少々伝わりづらいが、信じられないほど細やかで繊細な実物を見ると圧巻だ。



角田さんが布絵を始めたのは13年ほど前のこと。

元々は米子に書を習いに行き始めたのだが、先生に「こんなものもあるよ」と見せていただいたのが一枚の布絵だった。

それを見て興味を持ち、作り始めてみたら面白かったので、新しい作品ができる度に書の先生に見せに行っていた。

ある時、その先生に“あっちゃんのものになってきたね”と言われた言葉や、前々から要望があった“布絵を教えて欲しい”という声に応え、教室を始めるようになった。



また、幼稚園勤務時代から習っていた粘土細工は、退職後に保護者さんたちに少人数で教えるところから始まり、現在は布絵と同じく自身の工房で教室を開催している。

現在は布絵と粘土細工を合わせて、おおよそ30人くらいの生徒さんが角田さんの元に通っているそう。

教室は忙しいけれど、生徒さんが来てお話をしながらたくさん笑うことで元気になるのよと話す。

他にも絵葉書を書いたり、木彫りをしたり、吊るし飾りを作られる角田さん。

面白そう！と思ったことは何でもやってみるその姿勢は、幼稚園で子どもから学んだのだそう。

77歳になり、なかなか思うように体が動かないことも出てきて、今まで始めたいろいろなことを少しずつ誰かに委ねたり、ペースを落としたりしているというが、「何でもやるからには楽しまなきゃ！」という言葉通り、そうして自分の体や年齢に向き合っている姿もどこか楽しそうに見えた。



渡邊舞 (わたなべまい) /大阪府出身
南部町地域おこし協力隊

～取材者の一言～

幼稚園を退職される際、保護者の一人からプレゼントとして贈られた「角田先生ありがとうございます」という歌。歌詞を見せていただくと、「いつも笑顔」という言葉がありました。ご自身でも幼稚園勤務時代の写真を振り返ると“いつも笑っているのよ”とおっしゃっていましたが、角田さんの笑顔は本当にキラキラしていて、取材をさせていただいた私も元気とパワーを頂きました。

「私は周りに恵まれたと思う」とおっしゃっていましたが、それは角田さんの人徳なのだとは心から感じ、私もこんな風に歳を重ねたいなと憧れます！！